

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 ハリマ化成株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 金城 照夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東大

TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	9,475	—	201	—	269	—	130	—
20年3月期第1四半期	9,161	6.7	398	△19.9	573	△7.7	316	△51.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.02	—
20年3月期第1四半期	12.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	47,726	—	28,274	—	57.5	—	1,056.49	—
20年3月期	48,696	—	28,573	—	56.8	—	1,065.12	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 27,428百万円 20年3月期 27,652百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	19,500	—	650	—	750	—	400	—	15.41
通期	40,000	3.8	1,450	△4.5	1,600	△11.7	870	△66.6	33.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 26,080,396株 20年3月期 26,080,396株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 118,384株 20年3月期 118,384株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 25,962,012株 20年3月期第1四半期 25,968,418株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油に代表される資源価格の高騰、サブプライムローン問題に端を発した米国経済減速や円高の影響から、個人消費の伸び悩みや企業収益を圧迫しており、景気は減速傾向で、先行きに不透明感が強まる展開となりました。

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は9億4千7百万円となり、前年同期に比べ3億1千3百万円(3.4%)の増収となりました。

利益面では、国内事業については原材料価格の高騰に対して、価格修正により収益確保を重要課題として取り組みましたが、厳しい結果となりました。海外子会社についても、米国での景気減速を受け、伸び悩みました。

その結果、営業利益は2億1百万円で前年同期に比べ1億9千7百万円(△49.4%)の減益となり、経常利益は2億6千9百万円で前年同期に比べ3億4百万円(△53.0%)の減益、当期純利益は1億3千万円で前年同期に比べ1億8千5百万円(△58.7%)の減益となりました。

(樹脂化成品事業)

当期間中の国内の塗料業界は船舶・コンテナ向けが好調でしたが、建築向けが住宅着工戸数減少のためほぼ横ばいに推移しました。印刷インキ業界は前年割れで低調に推移しました。合成ゴム業界は国内需要が低迷しましたが、輸出が好調により堅調に推移しました。

このような環境下、当部門は製品価格の修正に取り組みましたが、原材料価格の高騰により厳しい結果となりました。

当部門の売上高は4億9千5百万円で、前年同期に比べ3億4千3百万円(7.4%)の増収となりましたが、営業利益は3億7千2百万円と前年同期に比べ6百万円(△1.6%)の減益となりました。

(製紙用薬品事業)

当期間中の国内の製紙業界は、チラシやカタログなどの商業用印刷用紙の販売は好調でしたが、板紙は米国経済の影響を受け段ボール原紙の需要が減少し、製品価格値上げが収益に寄与したものの重油や木材チップ等の原燃料高によるコスト増を吸収しきれず、収益は悪化しました。

このような環境下、当部門は製品価格の修正や収益改善に鋭意取り組みましたが厳しい結果となりました。海外事業におきましては、前期収益に貢献した中国での需要拡大は長期的には今後も続く見通しですが、今期は米国での景気減速の影響を受け、前期のような伸びは期待できない状況です。

当部門の売上高は3億2千4百万円で、前年同期に比べ2千3百万円(△0.7%)の減収となりましたが、営業利益は2億2千3百万円と前年同期に比べ4千4百万円(25.2%)の増益となりました。

(電子材料事業)

当期間中の国内の電機業界は、北京オリンピックが追い風となり、電子機器や薄型テレビなどの需要が好調に推移しましたが、自動車業界は、米国経済の減速を受けて、米国市場が低迷しました。このような環境下、当部門は減益という厳しい結果となりました。

当部門の売上高は1億2千3百万円で、前年同期に比べ1百万円(0.1%)の微増となりましたが、営業利益は1億3千1百万円と前年同期に比べ1億6千4百万円(△55.6%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は前期末に比べ9億6千9百万円減少しました。自己資本比率は57.5%となりました。増減の主なものは、流動資産では原材料が5億4千2百万円減少しております。固定資産では投資有価証券が2億円増加しております。流動負債では支払手形及び買掛金が6億4千9百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期のわが国経済の見通しにつきましては、原材料価格の高騰や米国サブプライムローン問題を背景とする景気の減速感など、先行き予断を許さない状況にあると思われまます。このような経営環境のもと、引き続き、原材料価格の高騰の影響を受けて、厳しい状況が続くと思われまますが、当社グループは研究開発を強化し、特徴のある製品開発を図り、一層のコストダウンを推進して、収益力の強化に取り組んでまいります。一方、海外事業では、拡大する中国での需要に対して、グループ力を結集して、売上、収益基盤の拡大に注力してまいります。

なお、当期（平成20年4月1日から平成21年3月31日）の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成20年5月12日の決算発表時の公表数値を下記の通り修正しております。

(1) 連結業績

①平成21年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	900	1,000	550
今回修正予想 (B)	19,500	650	750	400
増減額 (B-A)	△ 500	△ 250	△ 250	△ 150
増減率 (%)	△ 2.5	△ 27.8	△ 25.0	△ 27.3

②平成21年3月期通期の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	41,500	1,900	2,100	1,200
今回修正予想 (B)	40,000	1,450	1,600	870
増減額 (B-A)	△ 1,500	△ 450	△ 500	△ 330
増減率 (%)	△ 3.6	△ 23.7	△ 23.8	△ 27.5

(2) 個別業績

①平成21年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	15,400	400	500	300
今回修正予想 (B)	15,400	300	400	230
増減額 (B-A)	—	△ 100	△ 100	△ 70
増減率 (%)	—	△ 25.0	△ 20.0	△ 23.3

②平成21年3月期通期の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	900	1,100	650
今回修正予想 (B)	32,000	670	900	500
増減額 (B-A)	—	△ 230	△ 200	△ 150
増減率 (%)	—	△ 25.6	△ 18.2	△ 23.1

(3) 修正理由

売上高につきましては、国内事業で、決算発表時の数字で推移するものと予想されますが、海外事業におきまして、米国の景気減速を受け、決算発表時の数字を下回るものと見込まれます。また、営業利益、経常利益、当期（四半期）純利益につきましては、国内事業で、引き続き、原材料価格の高騰の影響を受けて、厳しい状況が続くと思われ、海外事業での売上高の減により、決算発表時の数字を下回るものと見込まれます。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定していません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、評価基準については、原価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は30百万円減少しております。

③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日実務対応報告第18号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については耐用年数を短縮して減価償却費を算出する方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は5百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,806,814	3,030,835
受取手形及び売掛金(純額)	12,708,699	13,124,243
商品	15,853	9,450
製品	1,989,568	1,887,705
半製品	250,247	153,721
原材料	3,373,635	3,915,954
その他	1,252,832	1,189,615
流動資産合計	22,397,650	23,311,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,254,433	5,339,331
土地	8,120,311	8,044,518
その他	4,284,026	4,466,984
有形固定資産合計	17,658,772	17,850,833
無形固定資産	166,653	222,617
投資その他の資産		
投資有価証券	5,586,211	5,385,247
その他	1,917,302	1,926,014
投資その他の資産合計	7,503,513	7,311,261
固定資産合計	25,328,939	25,384,713
資産合計	47,726,589	48,696,239
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,264,636	6,913,847
短期借入金	6,708,456	6,617,604
1年内返済予定の長期借入金	487,628	522,735
未払法人税等	114,129	112,154
役員賞与引当金	38,750	30,000
その他	2,056,200	2,186,347
流動負債合計	15,669,800	16,382,689
固定負債		
長期借入金	1,492,689	1,525,398
退職給付引当金	437,296	429,146
役員退職慰労引当金	297,570	292,290
長期預り保証金	1,328,065	1,371,055
その他	226,961	121,999
固定負債合計	3,782,582	3,739,889
負債合計	19,452,383	20,122,579

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	8,275,915	8,490,871
自己株式	△56,231	△56,231
株主資本合計	27,977,014	28,191,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117,854	△16,065
繰延ヘッジ損益	—	△4,053
為替換算調整勘定	△666,144	△519,159
評価・換算差額等合計	△548,290	△539,279
少数株主持分	845,482	920,968
純資産合計	28,274,206	28,573,660
負債純資産合計	47,726,589	48,696,239

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
売上高	9,475,304
売上原価	7,497,970
売上総利益	1,977,334
販売費及び一般管理費	1,775,542
営業利益	201,792
営業外収益	
受取利息	8,197
その他	139,497
営業外収益合計	147,694
営業外費用	
支払利息	60,380
その他	19,516
営業外費用合計	79,897
経常利益	269,589
特別利益	—
特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	269,589
法人税、住民税及び事業税	72,775
法人税等調整額	39,304
法人税等合計	112,079
少数株主利益	27,067
四半期純利益	130,442

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	269,589
減価償却費	369,060
のれん償却額	248
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,561
受取利息及び受取配当金	△39,749
支払利息	60,380
為替差損益(△は益)	623
持分法による投資損益(△は益)	△11,004
有形固定資産売却損益(△は益)	△560
売上債権の増減額(△は増加)	271,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	131,489
仕入債務の増減額(△は減少)	△529,457
その他	△273,841
小計	252,678
利息及び配当金の受取額	53,235
利息の支払額	△56,989
法人税等の支払額	△32,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△438,791
有形固定資産の売却による収入	14,547
投資有価証券の取得による支出	△50,328
投資有価証券の売却による収入	61,297
貸付けによる支出	△50,000
貸付金の回収による収入	335
その他	158,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	347,849
長期借入金の返済による支出	△23,690
配当金の支払額	△311,544
少数株主への配当金の支払額	△48,335
会員預り金の返還による支出	△42,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,925
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△224,004
現金及び現金同等物の期首残高	3,030,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,806,652

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	樹脂化成品 事業	製紙用薬品 事業	電子材料事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,956,375	3,224,621	1,238,265	56,042	9,475,304	—	9,475,304
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	4,956,375	3,224,621	1,238,265	56,042	9,475,304	(—)	9,475,304
営業費用	4,583,424	3,001,525	1,107,072	78,630	8,770,653	502,858	9,273,512
営業利益(営業損失△)	372,950	223,096	131,193	△22,588	704,650	(502,858)	201,792

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	日本	南北アメリカ	アジア	欧州	計	消去又は全社	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,670,879	974,552	829,873	—	9,475,304	—	9,475,304
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	199,516	31,701	209,331	—	440,549	(440,549)	—
計	7,870,395	1,006,253	1,039,205	—	9,915,854	(440,549)	9,475,304
営業費用	7,186,915	950,733	916,728	53,769	9,108,145	165,366	9,273,512
営業利益(営業損失△)	683,480	55,520	122,476	△53,769	807,708	(605,916)	201,792

【海外売上高】

当第1四半期(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	南北アメリカ	アジア	欧州	計
I 海外売上高	981,412	1,075,313	—	2,056,725
II 連結売上高				9,475,304
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	11.3	—	21.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前同四半期 平成20年3月期 第1四半期
	金額
売上高	9,161,473
売上原価	7,135,440
売上総利益	2,026,033
販売費及び一般管理費	1,627,230
営業利益	398,803
営業外収益	
受取利息	12,609
持分法による投資利益	28,890
その他	215,419
計	256,919
営業外費用	
支払利息	60,850
その他	21,039
計	81,889
経常利益	573,833
特別利益	221,230
特別損失	225,930
税金等調整前四半期純利益	569,133
法人税、住民税及び事業税	33,399
法人税等調整額	188,692
少数株主利益	31,032
四半期純利益	316,009

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前同四半期 平成20年3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	569,133
減価償却費	324,377
のれん償却額	16
役員退職慰労引当金減少額	△ 461,410
貸倒引当金の減少額	△ 13,718
退職給付引当金の減少額	△ 41,699
受取利息及び受取配当金	△ 54,198
支払利息	60,850
為替差益	△ 3,206
持分法による投資利益	△ 28,890
投資有価証券売却益	△ 241,095
売上債権の増加額	△ 54,509
たな卸資産の増加額	△ 481,463
仕入債務の増加額	8,726
役員賞与の支払額	△ 30,000
その他	583,448
小計	136,359
利息及び配当金の受取額	71,552
利息の支払額	△ 46,307
法人税等の支払額	△ 454,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 293,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 307,978
有形固定資産の売却による収入	13,040
無形固定資産の取得による支出	△ 3,110
投資有価証券の取得による支出	△ 333,839
投資有価証券の売却による収入	639,863
その他	228,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	236,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	578,659
長期借入れによる収入	26,892
長期借入金の返済による支出	△ 53,784
配当金の支払額	△ 233,716
少数株主への配当金の支払額	△ 13,477
預り保証金の返済による支出	△ 39,840
その他	△ 40,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	224,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,445
現金及び現金同等物の増加額	166,994
現金及び現金同等物の期首残高	2,299,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,466,305

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

(単位：千円)

	樹脂化成品 事業	製紙用薬品 事業	電子材料事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,612,934	3,248,206	1,236,860	63,472	9,161,473	—	9,161,473
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	4,612,934	3,248,206	1,236,860	63,472	9,161,473	(—)	9,161,473
営業費用	4,233,732	3,070,039	941,342	86,296	8,331,410	431,260	8,762,670
営業利益(営業損失△)	379,202	178,166	295,518	△ 22,823	830,063	(431,260)	398,803

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

(単位：千円)

	日本	南北アメリカ	アジア	計	消去又は全社	合計
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,333,083	1,187,974	640,415	9,161,473	—	9,161,473
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	290,124	7,147	169,091	466,363	(466,363)	—
計	7,623,208	1,195,121	809,506	9,627,837	(466,363)	9,161,473
営業費用	6,927,621	1,062,531	770,775	8,760,929	(1,741)	8,762,670
営業利益	695,587	132,590	38,731	866,908	(468,105)	398,803

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

(単位：千円)

	南北アメリカ	アジア	その他	計
I 海外売上高	1,190,198	755,998	—	1,946,197
II 連結売上高				9,161,473
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	8.2	—	21.2